

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201431	地域文化研究 Regional Studies	西原 麻里	専門	2	選択	2年 後期
科目の概要						
この授業では、おもに日本の地域文化・地域社会における現代的課題を取り上げ、その解決を目指すための基礎的理論や取り組み方を学ぶ。そのなかでもとくに郊外や地方、また受講者の「地元」の文化・社会に焦点をあて、これからの地域文化のあり方について考察する。自分の生活する地域の社会の仕組みや文化への理解を深めると同時に、課題解決のために自分にできることを考え行動に移していくための基礎を身につける。						
学修内容			到達目標			
① 地域文化・地域社会の課題を知る。 ② 地域文化・地域社会を研究するための理論を学ぶ。 ③ 地域活性化のための取り組みを学ぶ。			① 地域文化・地域社会の課題を知り、解決を目指す。 ② 地域文化・地域社会研究の理論を応用できる。 ③ 地域活性化のための取り組みを学び、実践活動へつなげる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	常識や固定観念にとらわれず、自分が生きる地域文化・地域社会のあり様に興味をもつ。地域文化・地域社会の仕組みについて、予習・復習で自分なりに調べて考察する。				
	働きかけ力					
	実行力	次週の授業テーマについて、複数の文献を用いて調べる。				
考え抜く力	課題発見力	授業テーマや学んだ理論を応用して、地域文化・地域社会におけるさまざまな問題・課題を発見する。				
	計画力					
	創造力	地域文化・地域社会のさまざまな問題や課題について、授業で学んだ理論を活かして復習レポートを執筆する。				
チームで働く力	発信力	ディスカッションでの問いや授業中になげかけられる質問に答える。相手をおそれずに、疑問に思ったことや建設的な意見を発信する。				
	傾聴力	一つの見方に固執せず、複数の意見を聞く。不明なところはかならず、教員や他の学生などの協力を仰ぎ解決する。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	復習レポートを期日内に提出する。 予習・復習と授業におけるルールを守る。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:授業内で適宜指示するほか、資料を配布・提示する。						
他科目との関連、資格との関連						
「地域文化演習」(3年生前期)。 この授業で学んだことを「生活スタジオ」や「卒業研究」で実践できることが望ましい。						
学修上の助言			受講生とのルール			
授業ではディスカッションを中心に実施するため、そのための予習・復習を欠かさずおこなうこと。 授業時間は集中し、板書以外に口頭で説明する内容もしっかりメモやノートにとること。 疑問点は放置せず、教員に質問したり文献で自習したりして解決すること。			授業中の私語、居眠り、勝手な途中退出、授業に関係のない電子機器類の使用を禁止する。また、学則で定められた遅刻2回で欠席1回とみなす。 授業内で提示する予習・復習の課題にかならず取り組むこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
小テスト	50	①	✓
		②	✓
		③	✓
小テストとして、授業各回の予習／復習課題を実施する。 授業で学んだ内容に加えて、自ら調べたことや考察をまとめることができているかを評価する。			
レポート		①	
		②	
		③	
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓
		②	✓
		③	✓
学期末試験としてレポート試験を実施する。 ■テーマ:「それぞれの地域の社会構造や文化を踏まえた、地域社会と文化の活性化のための提案」 授業で学んだ理論や具体的なアイデア、自身が調査したことなどを含めて論理的にプレゼンテーションを展開すること。具体的な事例を提示しながら、説得力があり、かつわかりやすく説明・考察できているかを評価する。			
作品		①	
		②	
		③	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
(主体性) ・自分で文献を探することができる。 (実行力) ・授業テーマに関する情報を文献を用いてまとめようとしている。 (課題発見力) ・授業のレクチャーやディスカッションから社会の課題を発見しようとしている。 (発信力) ・ディスカッションに積極的に参加している。 (傾聴力) ・ディスカッションで他者の意見を聞き、解釈している。 (創造力) ・授業で学んだことを復習課題としてまとめている。 (規律性) ・復習課題の提出期日を守っている。			
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
S: 授業内のディスカッションおよび学期末のレポート課題において、社会にある課題を自ら発見し、授業で学んだ理論をもとに自身の見解を論理的に記述することができる。 A: 授業内のディスカッションおよび学期末のレポート課題において、社会にある課題を自ら発見し、授業で学んだ理論をもとに考察することができる。 ※各回で提示する予習課題にかならず取り組み、その成果にもとづいてディスカッションできる。	授業内のディスカッションおよび学期末のレポート課題において、授業で学んだ理論をもとに考察することができる。 ※各回で提示する予習課題にかならず取り組み、その成果にもとづいてディスカッションできる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	イントロダクション 地域社会・文化を考察するための視座を学ぶ	ディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)地域文化・地域社会の特徴を調べる。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
2週 /	大都市圏/地方圏、都市文化/農村文化の異相 現代社会における「都市」と「農村」それぞれの社会・文化の構造を学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解き、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
3週 /	都市的な生活様式の伝播と変容 都市的な消費を中心とする生活様式が地方へと広がる状況とその課題、それにもとづく地域間の格差について学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解き、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
4週 /	地域社会の基本単位:コミュニティ コミュニティの概念と、地域社会がもつ「社会資本(ソーシャル・キャピタル)」の視点について学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解き、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
5週 /	人口減少社会でのコミュニティ意識 交流人口という考え方と人びとの生活するエリア、コミュニティ意識について学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解き、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
6週 /	「移動する文化」の様相とアイデンティティ 交通インフラや情報インフラが人びとの暮らしにもたらす影響や、その仕組みについて学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解き、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
7週 /	グローバリゼーションと多文化主義 「民族」あるいは「文化的集団」としてのエスニック・コミュニティやトランスナショナル・コミュニティについて学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解き、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
8週 /	社会的生活の基盤 地域(とくに地方都市)における、保健・医療・福祉の仕組みや課題について学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解き、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	社会的弱者を支えるための地域社会 現代社会の大きな問題である貧困・格差や、社会的弱者のための雇用・就労支援などの取り組みについて学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解し、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
10週 /	地域社会の一員としての取り組み 近代的理念としての市民の地域社会への参加や NPO などの活動の様相について学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解し、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
11週 /	地方都市と第一次産業 農業やそれにもとづく産業を活用した地域社会・文化の発展について学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解し、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
12週 /	地方都市とツーリズム 消費社会における地方ならではの課題である「リゾート開発」や地方へのツーリズム(観光)の様相について学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解し、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
13週 /	地方都市の再生に向けて 第一次産業を中心とする農村において問題化される「文化」の継承のあり方について学ぶ	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)テキストを読み解し、次週テーマに関する情報を収集する。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
14週 /	プレゼンテーション(1) 地域文化・社会の課題解決のために実践できること・実践したいこと	テキストと予習内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)次週以降のプレゼンテーションの準備をする。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
15週 /	プレゼンテーション(2) 地域文化・社会の課題解決のために実践できること・実践したいこと コンクルージョン	これまでの授業の内容にもとづいたディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)次週以降のプレゼンテーションの準備をする。 (復習)プレゼンテーションを振り返り、これまでの授業で学んだ内容を整理する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力